

学校だより



No.14

平成26年11月27日
尼崎市立尼崎養護学校

Let it go 尼養祭 終わる

会場には多くの観客の方々が舞台発表の始まりを待っていました。9時30分のアナウンスが流れると、先ほどまでざわめいていた館内は静まりかえり、いよいよ緊張の舞台スタートです。小・中学校の校長先生や各校の先生方、そして大勢の交流生やご家族の方々が見守る中、各学部の舞台発表が始まりました。

多くの観客を前にして、児童生徒たちは緊張と共に「よし、やるぞ」と気合いも入ったようです。

今年度のスローガンは「Let it go」。今年の流行語大賞にノミネートされた言葉です。「アナと雪の女王」の主題歌で「ありのまま」という表現にもなっています。まさに児童生徒たちが日頃の頑張っている姿を観ていただきたい、ありのままの姿を観ていただきたいという思いを「Let it go」という言葉に置き換えました。

では、それぞれの舞台発表の様子を写真で紹介しましょう。



小学部 高学年

「∞PIECE～シー・オブ・アマヨ～をめぐる冒険～」小学部は一人一人が日々取り組んでいる課題を劇の中に取り入れて演じていました。演じる児童の動きを客席も一体となって見守る緊張感もあり、20分間があっという間に流れていきました。



小学部 低学年 「シルク・ドゥ・アマヨウ」

中学部 「スタンドバイミー 尼養フレズ」

学校生活をテーマにした舞台発表の中学部。なつかしい「金八先生」の主題歌まで登場し、毎日のホームルームの様子や仲間同士のやりとりが想像できる展開となっていました。楽しいクラスの様子が伝わってきました。



高等部 「うた」

歌をテーマにした高等部。各学年ごとにテーマの表現方法は異なり、スクリーンによる表現も加えながら見せ場をつくっていました。

高等部3年生にとっては最後の舞台発表。各自の持ち味を表現してくれたのではないのでしょうか。



ありがとうございました

応援に来て下さった会場の方々に、「児童生徒の元気」をお土産に持ち帰っていただきました。また児童生徒たちも、多くの人を元気にできる素敵な力のあることに気づき、自信に繋がったことと思います。そして全校生全員参加の発表会ができたことも大きな収穫です。

思い出が沢山つまった尼養祭は幕を閉じました。舞台発表が終わり幕が下りたときに、会場から聞こえてきた拍手。きっと児童生徒たちの心に温かく響いたことでしょう。いろいろな面でご支援、ご協力いただきました保護者のみなさん、来賓のみなさん、有り難うございました。

展示コーナー

舞台発表と共に体育館後方でおこなっていた展示発表。作品を見ると、一人一人の制作している顔が思い浮かぶようでした。

各学部のスペースには力作が展示されていて、素材の工夫・色や模様の変化の楽しさを感じることができたのではないのでしょうか。



